

令和 5 年度 城山中央小学校 学校評価書 < 6 月 7 日 >

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

基本目標 主体的な学び，豊かなまごころ，健やかな体を持ち，地域とつながりよりよい社会と未来の創り手となってたくましく生きる児童を育成する。

目指す児童像

- ・ 進んで勉強する子ども（かしこく：知）
- ・ 思いやりのある子ども ・ 喜んで働く子ども（なかよく：徳）
- ・ 健康で明るい子ども（たくましく：体）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「まごころふれあう城山中央小学校」

—児童が仲間と楽しく学び，居がいを感じる学校づくり—

- ・ 児童が仲間と楽しく学び，自己有用感や帰属意識等の居がいを感じる学校
- ・ 保護者や地域住民から学校の取組に信頼が寄せられる学校
- ・ 教職員が子どもとふれあい，教え育てる喜びを感じる学校

以上の実現を目指し，学校が家庭や地域と手を携え，まごころふれあう学校経営を展開していく。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（1） 児童が仲間と楽しく学び，居がいを感じる学校づくり

- ① 児童一人一人が考え，自ら活動する主体的な学びの実現を図るため，充実した学級経営による教育活動を展開する。
- ②○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善のため，考えや理由を明確にできる思考力等を育む。
- ③○「まごころ教育」等の充実により，思いやりや自然愛護等のまごころを培い，活動の源となる体力の向上に努める。

（2） 教職員が子どもとふれあい，教え育てる喜びを感じる学校づくり

- ① 課題解決に協働する教職員集団づくり及び主体的に指導力を向上する人材育成に努める。
- ② 働きがいと豊かな生活の調和を意識しながら職務を遂行できるように，働き方改革を継続する。

（3） 保護者や地域住民から学校の取組に信頼が寄せられる学校づくり

- ① 歴史と伝統を踏まえ，教育の精神や校風を継承し，GIGA スクールの構想や SDGs 等を視野に入れた発展に努める。
- ② 社会に開かれた教育課程を具現化するために，地域の教育力を生かした教育活動を充実する。
- ③○学校園教育ビジョン小中一貫教育を推進するとともに，学校園との連携による地域の特色を生かした教育を推進する。

【城山地域学校園教育ビジョン】

ともに学び合う城山っ子を育む地域学校園

みんなで育てよう！自分を愛し，仲間を愛し，地域を愛する城山っ子

4 教育課程編成の方針

日本国憲法，教育基本法，学校教育法，小学校学習指導要領，栃木県「指導の指針」，「宇都宮市学校教育推進計画」・「宇都宮市学校教育スタンダード」・「指導の重点」に基づき，教育目標達成のための経営方針や努力点，学校評価の反省を十分踏まえて編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

（1） 学校運営 ○学ぶ楽しさ，仲間がいる楽しさ，居がいのある学校づくりの推進

（2） 学習指導 互いに認め合い，主体的に学ぶ児童の育成
～居がい，やりがい，学び合いを目指した算数の指導を通して～

（3） 児童生徒指導 ○思いやりの心を持ち，決まりやルールを守り，主体的な行動ができる児童の育成
～児童と児童，児童と教師のコミュニケーションをより深めることを通して～

（4） 健康（保健安全・食育）・体力 仲間と楽しく，意欲的に健康や安全，運動について学ぶ児童の育成
～活動量を確保した体育授業の実践や体を動かしたくなる体育環境の整備を通して～

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通, 地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には, A拡充 B継続 C縮小・廃止, を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は, 文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	A 1 児童は, 他者と協力したり, 必要な情報を集めたりして考えるなど, 主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 85%以上 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	・児童一人一人が考え, 自ら活動する主体的な学びの実現 ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と, それらを活用する力の育成 ・各教科等の「見方・考え方」を働かせた, 学び合いなどの協働的に課題を解決する学習活動の充実 ・探究心をかき立てる体験活動の工夫	A	
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	A 2 児童は, 思いやりの心をもっている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	・人権教育の推進 ・人権感覚・人権尊重の態度の育成を目指した指導の充実 ・教師一人一人の意識の高揚 ・人権週間・いじめゼロ運動の効果的な実施 ・望ましい集団・居がいのある学級づくり ・学級活動やなかよし班活動での「みんなで遊ぶ日」の時間の工夫と充実 ・なかよし班を通した縦割り班活動の工夫と活性化 ・状況に応じた言葉遣いの励行 ・自然や人との関りの両面から児童の主体性と豊かな心を育て, まごころ教育を進める。	B	
	A 3 児童は, 目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的解答 80%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	・折れない心・やり抜く心など心のたくましさに気付かせる授業の展開や実践の工夫 ・各種検定等, 児童が目標を持って取り組める機会の確保 ・児童が互いに認め合う場の設定 ・認め励ます指導の徹底	B	

1ー(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	・自己の基本的な生活習慣を見直し、改善が図れるような指導の工夫と児童や保護者への啓発 ・養護教諭と連携した保健の授業の実施 ・委員会活動を通した健康に関する啓発活動の実施 ・各種検定や全校で取り組む強化月間の実施 ・体育の授業、体育的行事を核とした体力づくりの実践 ・元気っ子健康体力チェックの活用 ・委員会活動を通した体力向上に関する啓発活動の実施 ・学校栄養士と連携した各教科や特別活動等における食育の実施 ・「食育だより」等を活用した食への関心を高める工夫 ・委員会活動を通した食に関する啓発活動の実施 ・地域と連携した登下校時の安全確保 ・交通安全教室や各種避難訓練等の適切な実施	B	
1ー(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	・係や当番等での自分の役割を自覚し、友達と協力して活動できる場の設定 ・キャリアパスポートの有効活用 ・児童会活動によるまごころ教育の充実 ・日常の清掃、まごころ清掃、みんなで遊ぶ日等におけるまごころ班活動の活性化 ・緑の少年団活動の工夫	A	
2ー(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 85%以上 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	・外国語科や外国語活動の教材の充実・環境整備 ・コミュニケーション能力の育成を目指した言語活動の充実 ・外国語学習を補完する授業内容の充実 ・授業における積極的なA L Tとの交流の機会	B	
	A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 85%以上 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	・生活科・社会科・総合的な学習の時間（宇都宮学）や校外学習等における指導内容の工夫や改善 ・宇都宮や城山地域など郷土への愛情を育む学習の推進	B	

2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A 8 児童は、デジタル機器 や図書等を学習に活用し ている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	・デジタル教科書、AIドリルの活用 ・クロームブック・デジタル機器を活用した授業の展開 ・情報モラル教育に関する授業の展開 ・学習内容の時期に合わせた関連図書の整備 ・市立図書館を利用した学級文庫や調べ学習用図書の充実	B	
2- (3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進	A 9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 85%以上 ⇒教職員の肯定的回答 70%以上	・節電・節水・リサイクル活動の実施 ・「緑の少年団」活動を通じた自然愛の醸成 ・各教科や日常生活の中でのSDGsを意識させる指導の工夫や掲示物などの環境作り ・土砂災害を想定した避難訓練の実施 ・自然災害を取り上げた学習内容の工夫	B	
3- (1) インクルー シブ教育シ ステムの充 実に向けた 特別支援教 育の推進	A 10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	・個別の指導計画による指導の充実 ・学級との交流や連携を図った指導の推進 ・特別支援教育コーディネーターを中心とした教育支援委員会の開催と共通理解 ・多様なニーズの理解と支援方法の明確化 ・学級における配慮児童の「かがやきルーム」の活用個別の指導計画の策定 ・ケース会議による指導方針・成果と課題の明確化、及び情報共有	B	
3- (2) いじめ・不 登校対策の 充実	A 11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	・「学校いじめ防止基本方針」に基づいた取組の推進 ・「いじめ等対策委員会」の活用 ・「いじめゼロ強調月間」の充実 ・いじめ根絶集会の実施 ・定期的なアンケートの実施と教育相談の充実 ・潤いのある学校環境の整備 ・「さん」付けの呼び方の徹底 ・職員間での情報の共有 ・学校便りやホームページでの周知 ・道徳科の授業公開	B	

	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	・不登校・不適応等特別な教育的支援が必要な児童への対応 ・日常の観察・教育相談・Q-U調査等の実施による早期発見・早期対応 ・ケース会議等による支援方法の明確化 ・関係機関との連携と紹介 ・職員間での情報の共有 ・児童が互いに認め合う場の設定 ・認め励ます指導の徹底	B	
3-(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活があり、明るいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 85%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	・教育相談・いじめに関するアンケート・Q-U調査の実施により、学級内のよりよい人間関係づくりに努める。 ・児童一人一人を認め励ます指導を推進する。 ・職員間の情報交換の推進・機会の確保 ・適切できめ細やかな保護者への連絡による信頼関係の構築。	B	
3-(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化				
4-(1) 教職員の資質・能力の向上	A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 95%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	・指導技術の確立と授業時数の確保 ・教科担任制・TT指導等の効果的实施 ・学校だより、ホームページ等による学習についての情報提供 ・クロームブックの有効活用	B	
4-(2) チーム力の向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 95%以上	・学校の諸問題への組織的な対応 ・学校行事の準備・運営等への協力 ・職員の得意分野を生かした組織づくり	B	
4-(3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	・業務内容の明確化 ・学校の組織運営や各種行事等の実施方法の工夫・改善 ・学習情報システム等の各種システムの効果的な活用の推進 ・担当業務の効率的な実施や見通しを持った計画的な処理	B	
5-(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	・小中の相互乗り入れ授業を計画的に実施する。 ・小中合同の行事や活動に積極的に取り組む。 ・小中合同のあいさつ運動の推進 ・宮っ子チャレンジウィークにおける積極的な受け入れ	B	
5-(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充	・地域人材の協力や企業・団体等の専門性を生かした学習を推進する。	B	

5-(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	実を図っている。 【数値指標】 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	・学校支援ボランティアの有効活用を推進する。		
6-(1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	・毎月の安全点検の実施 ・危険箇所等の迅速な報告・修繕 ・消防隊員によるAED研修及びエピペン実技研修の実施 ・保護者と連携して環境整備等を行い、安全で安心な学校づくりに努める。	B	
6-(2) 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	・授業準備や授業、業務の際の、一人一台端末、学校用グループウェア、校務支援システム、デジタル連絡ツールなどの積極的な活用 ・ICT支援員との連携	A	
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上 ⇒地域住民の肯定的回答 70%以上	・家庭及び地域協議会と連携した地域ぐるみの「あいさつ運動」の展開 ・小中合同の「あいさつ運動」の推進 ・ホームページや、デジタル連絡ツールでの周知	B	
	B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的回答 85%以上 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	・基本的な生活習慣と規範意識の育成 ・生命や人権尊重を題材とした授業（道徳・学級活動等）の実施 ・「城央小のよい子」を活用した、統一的・継続的な指導 ・<u>家庭・地域・関係諸機関との連携</u>	B	

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。